

# 葛葉川本谷沢登り報告

【日時】 9月20日（水）

【天候】 曇り

【行程】 東名高速秦野 IC→葛葉の泉駐車場→葛葉川遡行→三の塔  
二の塔→二の塔尾根→葛葉の泉駐車場→帰葉

【参加メンバー】 上茂（CL）、石橋（SL）、小俣、飯田（記録）

【内容】 秦野 IC を降り葛葉の泉駐車場到着時は他に駐車しておらず、どうやら今日の遡行は独り占めのようだ。

駐車場前の橋を渡り、堰堤を超えて左側から入溪。歩き始めは藪っぽいけど意外と歩しやすい。初級者向けの易しい沢だから歩きやすい沢が続くのだろうと思っていたらとんでもなかった。

歩き進めると次から次へと滝が現れ、穏やかな優しいナメ滝もあれば暴れん坊な滝もあって変化に富み全く飽きさせない。右岸・左岸と巻くにしても手掛かり・足掛かりの確りしたのもあれば、滑っているのもあって緊張を強いられることもあるがメチャクチャ面白い！これぞ冒険といった感じだ。

ガレた足元をものともせず、2m～5mの滝をガンガン登り、時には天然のシャワーを浴びながら遂に來ました8mの板立の滝。この滝がコース一番の難所で高巻きするのもありでしたが、垂直の岸壁を前に CL は暫し熟考。ロープを取り出し左岸を登ることになったのでした。

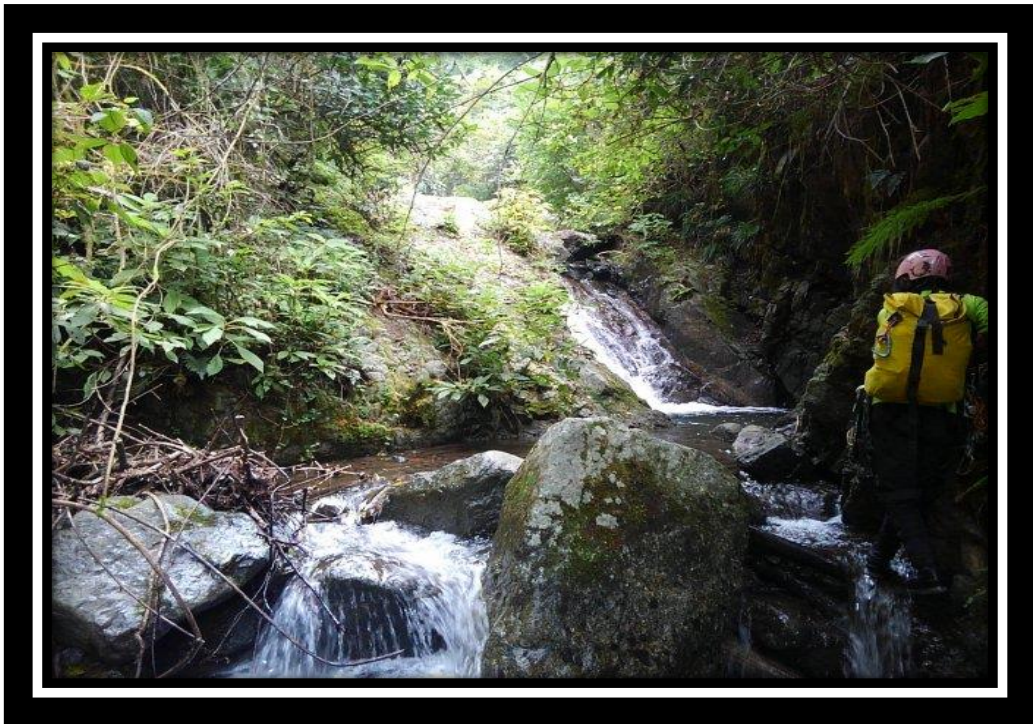
よく見るとハーケンが打ち込んであり、クライミング感は満点！CL はクイックドロローを掛けながらいとも簡単にスルスルと登り支点を確保。自分がセカンドを務めました、SL のアドバイスをもらいながらどうにかこうにか完登。登ると今にも切れてしまいそうな残置スリングがあり、ここばかりは誰もが苦勞したようだ。スリングな板立の滝を超えた後は8mほどの2段の滝を登り、橋をくぐっていくつかの短い滝を超えると、7mくらいだろうか富士形の滝に到着。この滝を超えてしまうと徐々に沢は細り始め、楽しかった沢登りも終わりが近いと感じます。

最後の滝を無事登り切り、小休止後は三の塔の尾根をひたすら登り歩く。  
沢と違って面白みは全く無くただの辛いアルバイト。三の塔から二の塔へと歩き、  
二の塔からは出発点の葛葉の泉駐車場を目指し急下降。これがけっこうしんどいの  
だ。疲れた足をさすりながらも葛葉の泉に到着すると名水をお土産に帰葉したので  
した。

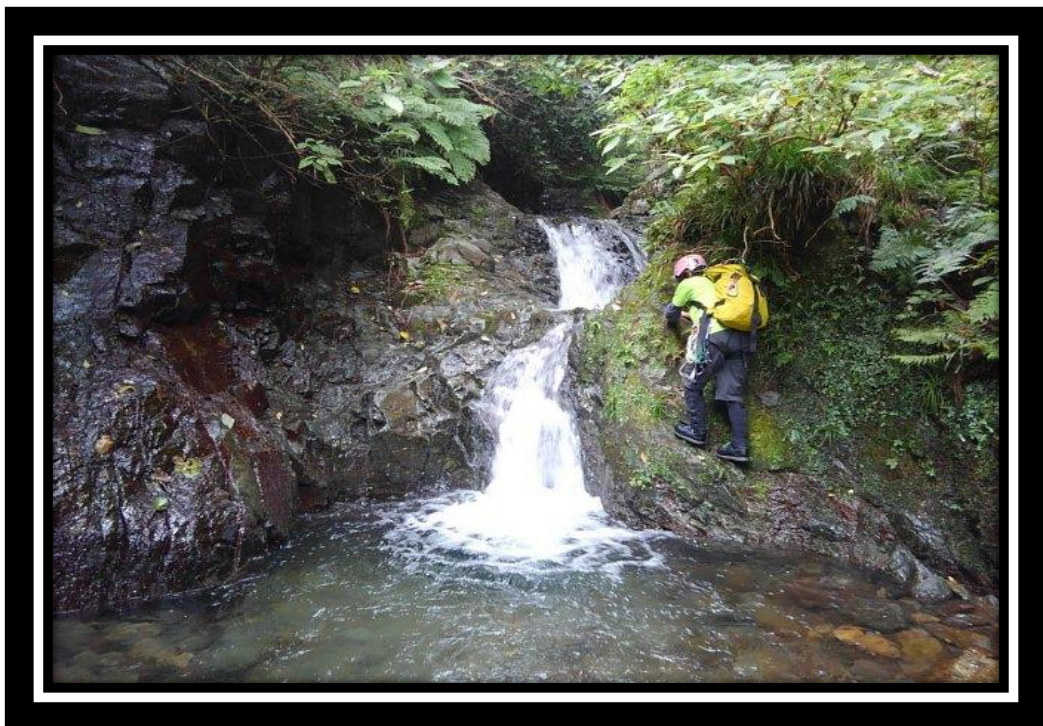
記録：いいだ



余裕しゃくしゃくの三人です。

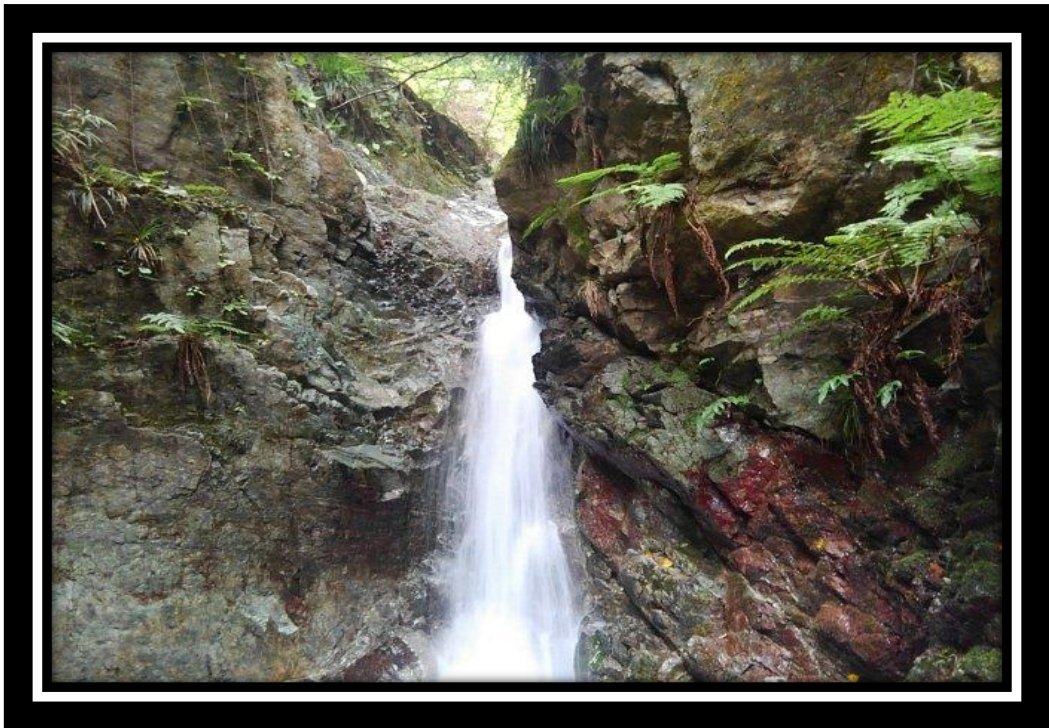


歩き始めはちょっと藪っぽい感じです。



ナメ滝風もあれば





勢い激しいゴルジュ風もあり。

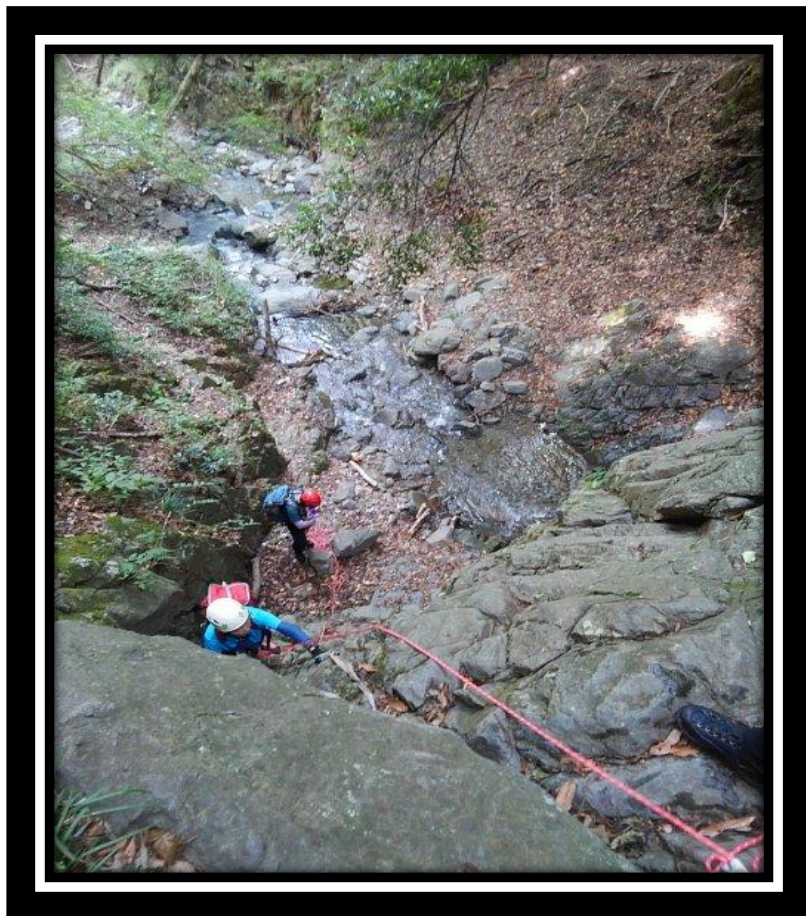


2段5mくらいか？この辺りになるともう面白すぎる。





板立ての滝、左岸をスルスル登る CL。さすがです。



下を覗くと高度感あり。





林道直下の2段8mの滝。登るワクワク感がたまりません。



富士形の滝だそうです、う～ん？





10m2段の滝。だいぶ細くなってきました。そろそろ終わり。



つながっているホトトギスの花。珍しいそうです。

